

# 英文法なんて怖くない

—Who's Afraid of English Grammar?—

山内信幸

北林利治

橋尾晋平

英宝社

## はしがき

本書は、英文法に苦手意識を持っている皆さんを念頭に置いて、執筆・編集されたものです。タイトルの『英文法なんて怖くない (Who's Afraid of English Grammar?)』には、苦手意識の解消だけでなく、もう一度、英文法の最重要項目の整理と英文法の背後にある原理への気づきを目指してほしいという意味を込めました。

本来、英語学習において英文法という領域が単独で存在するものではなく、すべての領域を支える基本学力的な性格を持つものです。例えば、readingにおいては、単語の意味さえわかれば文意がとれるものでもなく、主要語となっている名詞や動詞、さらには、形容詞や副詞などがどのような働きで用いられているかを理解できないと、正確な読みは確保できません。また、writingにおいても、文の核となる動詞がどのような要素と結びつくかの知識がないと正確な文は産出できません。さらに、listeningにおいても、聞き取れた単語だけをうまくつなげても正確に意味をとることはできないでしょう。聞き取った英文の構造をしっかりと理解して、メッセージを正確に読み取るには英文法の知識が不可欠です。最後に、speakingにおいても、単語だけを並べれば意思疎通は可能なようにも思われますが、国際人としての活躍が期待される場面では、ある程度複雑な文構造と論理構造を持たない不正確な英文発話では、相手からの信頼も獲得できない恐れもあります。

著者たちは、長年の英語教授経験を通して、日本人学習者が苦手と感じている学習事項に習熟していて、その克服のために、英文法教育においても多くの効果的な教授法を実践してきました。本書は、著者たちの知識とアイデアがいたるところに詰め込まれた英文法テキストの決定版と自負しています。

本書の構成と特色は、以下のとおりです。

- ① それぞれのUNITでは、英文法の最重要項目を精選し、かつ、4技能のバランスの取れた英語運用能力の養成のために必要な文法項目を提示し、多くの練習問題を用意しています。
  - Review Practiceでは、前のUNITの簡単な復習を行います。
  - Introductionでは、それぞれのUNITでの必須事項について、例文とともに解説を与えています。
  - Checkでは、取り上げる文法項目を図表で示して、文法知識の定着を目指します。
  - Grammar Pointsでは、learner-friendlyを心がけ、学習者の皆さんとのQ&A形式で、課題の提示とその解決方法をわかりやすい「語りかけ」で解説しています。
  - Exercisesでは、それぞれのUNITの文法項目の定着を図る多種多様な問題が易から難へ配置され、「問題でもって、文法項目のポイントを語らせる」ことを企図しています。また、英文法知識の応用として、和訳と英訳の問題も用意しています。
- ② 上記の構成は、英文法単独の授業にも必要十分な内容を含んでいますが、他の科目との併用テ

キストとして、さらには、自学自習用のサブ教材としての使用にも耐えるように配慮されています。

今一度、「英文法なんて怖くない」という著者たちの思いが本書を使用する皆さんに届くことを期待し、英文法が、皆さんのこれからの英語学習において、身近で、馴染みやすいものとなることを願ってやみません。

2023年夏、酷暑の京都にて

山内信幸  
北林利治  
橋尾晋平

# 目次

UNIT 1	品詞	5
UNIT 2	文型と動詞 (1)	15
UNIT 3	文型と動詞 (2)	23
UNIT 4	時間の表し方 (1)	31
UNIT 5	時間の表し方 (2)	39
UNIT 6	受動態	47
UNIT 7	準動詞 (1) (不定詞)	55
UNIT 8	準動詞 (2) (動名詞)	63
UNIT 9	準動詞 (3) (分詞)	72
UNIT 10	関係詞	80
UNIT 11	否定・比較	90
UNIT 12	助動詞・仮定法	101
UNIT 13	話法	111
UNIT 14	接続の方法	120
UNIT 15	主語の見つけ方	128

# UNIT 1 品詞

## Review Practice

このUNITでは、品詞について学びます。まず、辞書の情報を常に参照する癖をつけるために、実際に手元の辞書を開いて、以下の英文の下線部の語がどのような品詞として用いられているかを [ ] 内に記入し、日本語に訳しなさい。なお、動詞の場合は、自動詞・他動詞の別も記しなさい。

(1) Your viewpoint is morally sound. [ ]

---

(2) Not a sound escaped him. [ ]

---

(3) He is looking at you, trying to sound you out. [ ]

---

(4) She fell sound asleep in the hotel after a long flight to Japan. [ ]

---

(5) His story sounds incredible. [ ]

---

## Introduction

このUNITでは、「品詞」という観点から、英語の文を見てもみることにしましょう。多くの文法書では、最初に、「品詞」という項目から書き起こすことはしていません。おそらく自明のこととして最初にわざわざ挙げることはせず、それぞれの文法事項の説明が進むにつれて、それぞれの品詞の用法の説明が加えられています。

本書では、動詞を中心に文がどのような型を取るのか（動詞と文型の関係性）について、UNIT 2とUNIT 3で詳しく見ていく予定ですが、その際には、それぞれの語が文の中でどのような働きをしているかは重要で、例えば、主語となるものにはどのような語（句）がなり得るのかをきちんと把握しておく必要があります。

伝統的な英文法では、一般的に、8品詞（名詞、代名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞、間投詞）が認められていて、さらに、動詞の働きの下位区分としての助動詞と形容詞の働きの下位区分としての冠詞を加えて、10品詞とする立場もあります。本書では、普段からよく目にする助動詞と冠詞も含めて、10個の品詞に分類することにします。英文を理解するのに、それぞれの語の種類とその機能（働き）に着目することはとても大切です。

Mother often goes to a nearby supermarket by bicycle, but I always go there on foot.

上で示した例文のそれぞれの語がどの品詞に属するものかを確認してみましょう。

名詞：Mother, supermarket, bicycle, foot

代名詞：I

動詞：goes, go

助動詞：φ

形容詞：nearby

冠詞：a

副詞：often, always, there

前置詞：to, by, on

接続詞：but

間投詞：φ

(φは、上記の文には含まれていない品詞であることを表しています。)

## Check

それぞれの品詞の種類と意味・働きを次の表で確認しましょう。

品詞	種類	意味と機能（働き）
名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通名詞（数えることのできるいろいろな事物を表す名詞）</li> <li>● 集合名詞（単数・複数扱いで、集合体を総括的に表す名詞）</li> <li>● 物質名詞（数えることのできない物質を表す名詞）</li> <li>● 抽象名詞（数えることのできない、目に見えない概念的なものを表す名詞）</li> <li>● 固有名詞（数えることのできない固有のものを表す名詞）</li> <li>* 数えることのできる名詞を可算名詞、数えることのできない名詞を不可算名詞と呼びます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人や物などの名を表す。</li> <li>● 主語・目的語・補語になることができる。</li> </ul>
代名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人称代名詞（人称を表すもの：I, my, me, mine など）</li> <li>● 指示代名詞（何かを指し示すもの：this, that など）</li> <li>● 不定代名詞（不特定の人や物あるいは数量を表すもの：one, all, every, both, some, any, none など）</li> <li>● 疑問代名詞（疑問を表すもの：who, what, which）</li> <li>● 関係代名詞（接続詞と代名詞の働きを兼ねるもの：who, whose, whom, which, that, what）</li> <li>* 詳しくは、UNIT 10の関係詞の関係代名詞を参照のこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名詞の指し示す内容の代わりに語として用いられる。</li> <li>● 名詞と同様に、主語・目的語・補語になることができる。</li> </ul>

動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規則動詞（原形に-edの活用語尾を付けて、過去形・過去分詞形を作る）</li> <li>● 不規則動詞（原形・過去形・過去分詞形にそれぞれの活用を持つ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的語を取らない動詞は、自動詞と呼ばれ、さらに、補語を伴うかどうかで、完全自動詞と不完全自動詞に下位分類できる。</li> <li>● 目的語を取る動詞は、他動詞と呼ばれ、目的語の数が1つか2つかで、完全他動詞、授与動詞に分けられる。さらに、補語を伴う場合は、不完全他動詞と呼ばれる。</li> </ul>
助動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動詞の下位区分ではあるが、単独で用いられることはなく、いつも動詞と結びついて用いられ、その動詞に様々な意味を付け加えることができる。助動詞の後は、動詞の原形が用いられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● be+現在分詞の形で進行形を作ったり、be+過去分詞で受動態を作ったり、また、have+過去分詞で完了形を作ったり、doで疑問や否定、強調を表したりすることができる。</li> <li>● can, may, must, shouldなどは、本動詞に能力、義務、推量などの意味を付け加えることができるものもあり、法助動詞と呼ばれる。これらは、①文の主語が持つ、または、文の主語に与えられる意思、能力、義務などの意味を添える根源的用法と、②文の内容について話し手の知識や判断を示す陳述緩和的用法に下位分類される。</li> </ul> <p>* 詳しくは、UNIT 12の助動詞・仮定法参照。</p>
形容詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性状形容詞（事物の性質や状態などを表すもの：white, cold, kindなど）</li> <li>● 数量形容詞（数や量を表すもの：many, much; few, littleなど）</li> <li>● 代名形容詞（代名詞が形容詞として用いられるもの：my, this, whichなど）</li> </ul> <p>* 冠詞もこの中に含まれるが、ここでは、別立てで扱う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名詞や代名詞の性質や特徴を表す。</li> <li>● 名詞に直接つけて、その名詞を修飾する限定用法と動詞の補語として働く叙述用法がある。</li> </ul>
冠詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不定冠詞（単数の可算名詞について、「1つの」を表す：a, an）</li> <li>● 定冠詞（単数・複数いずれの名詞にも用いられ、特定のものを表す：the）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名詞の前に置かれ、その名詞との繋がりで、さまざまな意味を表す。</li> </ul>
副詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「時」の副詞（now, soon, whenなど）</li> <li>● 「場所」の副詞（here, below, whereなど）</li> <li>● 「様態」の副詞（well, mildly, howなど）</li> <li>● 「頻度」の副詞（often, sometimes, neverなど）</li> <li>● 「程度」の副詞（very, enough, too, hardlyなど）</li> <li>● 「否定・肯定」の副詞（yes, not, seldomなど）</li> <li>● 「順序」の副詞（first, next, lastなど）</li> <li>● 「原因・理由」の副詞（therefore, hence, consequentlyなど）</li> <li>● 「文修飾」の副詞（主に文頭に用いられるもの：happily, certainly, naturallyなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に、動詞・形容詞または他の副詞を修飾するが、名詞を修飾することもできる。</li> <li>● 語だけでなく、句や節あるいは文全体を修飾することもできる。</li> </ul>
前置詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単純前置詞（at, by, forなど）</li> <li>● 複合前置詞（into, throughout, withinなど）</li> <li>● 分詞前置詞（concerning, regarding, notwithstandingなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名詞や代名詞の前に置いて、場所・時間・理由・目的・譲歩・方向などを表す。</li> </ul>
接続詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 等位接続詞（対等の関係にある語・句・節を結びつける働きをもつ：and, but, orなど）</li> <li>● 従位接続詞（一方が他方から従属する2つの節を結びつける働きをもつ：when, if, asなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語・句・節を結びつける。</li> <li>● 等位接続詞は、語と語、句と句、節と節を結びつけ、従位接続詞は、節と節のみを結びつける。</li> </ul>
間投詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 喜び（Hurrah!, Bravo!など）</li> <li>● 悲しみ（Ah!, Alas!など）</li> <li>● 驚き（Oh, Oなど）</li> <li>● 軽蔑・嫌悪（Bah!, Pooh!など）</li> <li>● 呼びかけ（Hello!, Hi!など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文の他の要素と文法的な関係は持たないで、それだけで独立して用いられる、喜びや悲しみ、驚きなど表す。</li> </ul>

## Grammar Points

**Q1** 個々の語の品詞は何となくわかるのですが、どのような点から確認すればいいのでしょうか？

**A1** まず、手元に英和辞典を用意して、単語ごとに品詞を確認する癖をつけましょう。次に、文の中の動詞を探しましょう。活用（語形変化）が確認できれば、それが動詞です。さらに、動詞を中心に見て、それぞれの語がどの位置に生起しているかに注目しましょう。主語・目的語・補語の位置にあるものは名詞と見なすことができます。また、動詞がどのような要素を従えているかにも気をつけましょう。もし何かを導いているのであれば、名詞か形容詞となります。また、文の主要な構成要素である主語の部分と動詞の部分以外の要素は副詞と見なすことができます。さらに、名詞の前後についている語句があれば、それは形容詞や冠詞と見なすことができます。

We use much water for many purposes.

私たちは多くの目的のためにたくさんの水を使います。[We=代名詞、use=動詞、much=形容詞、water=名詞、for=前置詞、many=形容詞、purposes=名詞]

This news was a great surprise to me.

このニュースは私には大きな驚きでした。[This=代名詞、news=名詞、was=動詞、a=冠詞、great=形容詞、surprise=名詞、to=前置詞、me=代名詞]

Those present here in the room were all girls of fifteen and under.

ここの部屋に居合わせた人たちは皆15歳以下の少女たちでした。[Those=代名詞、present=形容詞、here=副詞、in=前置詞、the=冠詞、room=名詞、were=動詞、all=形容詞、girls=名詞、of=前置詞、fifteen=名詞、and=接続詞、under=副詞]

**Q2** 1つの語が複数の品詞をもっている場合に、どのように見分けたいのでしょうか。

**A2** ここでも、辞書で確認するのが基本となりますが、A1で説明したように、それぞれの品詞が生じている位置（主語・目的語・補語の位置に生じているのか）やそれぞれ品詞の働き（機能）に留意して、最終的な意味を決定していくことになります。

Your idea sounds very good.

君のアイディアはとてもよく聞こえるよ。

soundには、「音」という名詞、「～のように聞こえる」という動詞、「健全な」という形容詞と、「十分に」という副詞の意味があります。ここでは、soundにいわれる「3単現のs（3人称単数現在形のs）」がついているので、動詞と見なすことができます。また、この動詞は、不完全自動詞として、後に形容詞を伴います。[Your=代名詞、idea=名詞、sounds=動詞、very=副詞、good=形容詞]



A sound sleep will do you much good.

健全な睡眠はあなたに多くの効用をもたらしてくれます。

doは、「Aをする」という意味で目的語（名詞）を1つ、また、「AにBを与える」という意味で目的語を2つ取ります。ここでは、doは、youとgood（muchが前についているので、名詞と見なすことができます。）という2つの名詞を取っていると見なすことができます。[A=冠詞、**sound=形容詞**、sleep=名詞、will=助動詞、**do=動詞（授与動詞）**、**you=代名詞**、much=形容詞、**good=名詞**。なお、この例文中のsoundは、sleepという名詞の前についているので、形容詞（「健全な」）になります。]

**Q3** 同じ語が異なった品詞で用いられるものとして、具体的にどのようなものがあるでしょうか。

**A3** 単語の中には、上で述べたように、2つ以上の品詞に用いられているものがあります。いくつか挙げておきますので、確認してください。

She looks well. [形容詞]

彼女は元気そうです。

She sings J-pop songs well. [副詞]

彼女はJ-popの歌を上手に歌います。

I know little about the news. [代名詞]

私はそのニュースのことはほとんど知りません。

There was little hope for peace talks. [形容詞]

和平交渉への望みはほとんどありませんでした。

She can speak French a little. [副詞]

彼女は少しフランス語が話せます。

He is the last person to tell a lie. [形容詞]

彼は嘘をつくような人ではありません。

Kenji arrived at the goal last. [副詞]

ケンジはゴールに最後に着きました。

I consider every day my last. [名詞]

私は毎日が最後の日と思って生きています。

How long will this storm last? [動詞]

この嵐はどれくらい続くのでしょうか。

**Q4** 異なった形容詞を複数並べる場合に、何か決まりのようなものはありますか。

**A4** 一般的に、「冠詞・代名形容詞」＋「数量形容詞」＋「以下を除く性状形容詞」＋「大小・形状・高低を表す形容詞」＋「新旧・老若を表す形容詞」＋「色を表す形容詞」＋「国籍を表す形容詞」＋「材料を表す形容詞」＋「名詞形容詞」の順に並びます。

a few pretty little new pink plastic dolls.

可愛い小さな新品のピンクの色合いをしたプラスチック製の2, 3の人形

my father's two old brown hats

私の父の古い茶色の2つの帽子 (所有格の表現は形容詞に先行します。)

both my father's old brown hats

私の父の古い茶色の両方の帽子 (bothやallはすべての修飾語に先行します。)

**Q5** 異なった副詞を複数並べる場合に、何か決まりのようなものはありますか。

**A5** 一般的に、異なる種類の副詞が並ぶ場合は、以下のような傾向があります。

(a) 異なる種類の副詞が並ぶ場合：

(1) 「場所」と「時」を表す場合は、「場所」＋「時」の順になります。

I'll go there tomorrow.

私は明日そこに着きます。

(2) 「様態」の副詞が加わると「場所」＋「様態」＋「時」の順に、あるいは、「様態」の副詞が短い場合は、「様態」＋「場所」＋「時間」の順になります。

They arrived here safely last night.

彼らは昨晚ここに無事に到着しました。

My children study hard at home every night.

私の子供たちは毎晩一所懸命に自宅で勉強します。

(b) 同じ種類の副詞が並ぶ場合：

指し示す内容の単位が「小さいもの」から「大きいもの」の順に並びます。

Please come to my office at Meieki Campus in Noritake at ten in the morning tomorrow.

明日の午前10時に則武にある名駅キャンパスの私の研究室に来てください。

## Exercises

1. 次の各文の下線部の語の品詞と種類 (あるいはその働き) を指摘し、全文を日本語に訳しなさい。

(1) This committee consists of twenty members. [      ]

---

(2) After a storm comes a calm. [      ]

---

(3) Can you put this radio to use? [      ]

---

(4) What have you come here for at this late hour of night? [      ]

---

(5) I couldn't make myself heard above the noise of the train. [      ]

---

(6) He is most unlikely to say such a thing. [       ]

---

(7) Like sunshine after a storm was the pleasant week which followed. [       ]

---

(8) I unluckily found my purse stolen while I enjoyed shopping. [       ]

---

(9) War is a cruel crime against humanity. [       ]

---

(10) She embarrassed me by asking if I loved you. [       ]

---

2. 次の各文の下線部について、それぞれの誤りを訂正しなさい。

(1) The lecturer addressed to the audience enthusiastically. (       )

(2) I tried to explain about our project. (       )

(3) Good medicine tastes bitterly. (       )

(4) I felt unpleasant at his remarks. (       )

(5) As I felt thirsty, I wanted cold something to drink. (       )

(6) The lack of money had made him impossible to go abroad. (       )

(7) We shook hand with each other on the successful deal. (       )

(8) Thoughts are expressed by mean of words. (       )

(9) That is learned in the cradle is carried to the grave. (       )

(10) He prefers to living in the country to live in town. (       )

3. 次の日本語に合うように、各文の (       ) の中から正しい語を選びなさい。

(1) Medicine is a (**respectable, respectful, respective**) profession.

医療は社会的に地位の高い(尊敬に値する)職業です。

(2) The subordinates stood at a (**respectable, respectful, respective**) distance from the President.

部下たちは、失礼にならないように(敬意を表して)、社長から少し離れて立っていました。

(3) Go back to your (**respectable, respectful, respective**) homes soon.

すぐにそれぞれの家に帰りなさい。

(4) You should be more (**sensible, sensitive, sensuous, sensual**) to his feelings.

君は彼の気持ちをもっと汲んであげる(敏感である)べきだよ。

(5) We were all attracted by the (**sensible, sensitive, sensuous, sensual**) harmony.

私たちは全員甘美な(感性に訴える)ハーモニーに魅了されました。

(6) It'll be (**sensible, sensitive, sensuous, sensual**) of you to give me good advice at this moment.

このときにいい忠告をくれるなんて、君はなんていい（分別のある）人なんだろう。

- (7) These paintings at the exhibition looked very (**sensible, sensitive, sensuous, sensual**).

展覧会のこれらの絵はとても官能的に（肉感的に訴えるように）見えました。

- (8) All the characters in this drama are (**imaginative, imaginable, imaginary**).

この劇の登場人物は全員架空の（想像上の）人たちです。

- (9) Pablo Picasso is evaluated as one of the most (**imaginative, imaginable, imaginary**) artists in the world.

パブロ・ピカソは、世界で最も独創的な（想像力豊かな）芸術家の1人として評価されています。

- (10) We attempted every method (**imaginative, imaginable, imaginary**) to solve the task.

私たちは、その課題を解決するために、ありとあらゆる（想像できる限りの）方法を試みました。

4. 次の日本語に合うように、( ) の中の語を正しい語順に並び替えなさい。ただし、文頭に來るべき語も小文字で示してあります。

- (1) Please show me (**teacups, polished, the, all, British**) on the showcase.

陳列棚の上にあるイギリス製の光沢のある紅茶カップを全部見せてください。

---

- (2) Don't expect your parents (**time, you, all, financially, to, the, support**).

いつもお金の面で両親から支援してもらえると期待してはいけません。

---

- (3) I think it (**from, every, to, free, busy, be, day, something**) duties.

私は日常の多忙な義務から自由になることもそれなりに大切なことだと思っています。

---

- (4) My daughter showed (**present, received, pretty, she, me, the**) from her steady.

私の娘は彼氏からもらった可愛いプレゼントを私に見せてくれました。

---

- (5) This incident in a small town (**led, nationwide, the, to, riots, public**).

ある小さな町のこの些細な出来事によって、大衆が全国規模の暴動を引き起こすことになりました。

---

- (6) Look! The mountain (**covered, with, of, is, top, snow, the, which**) is Mt. Tanigawadake.

ほら見てください。頂上が雪で覆われている山が谷川岳です。

---

- (7) (**news, the, hear, alas!, of, to**) my grandfather's death on vacation.

ああ！休暇中に祖父の訃報の知らせを聞くなんて。

---

- (8) My father is (**fly, researchers, of, to, the, drones, first, one**) in their fieldwork.  
私の父はフィールドワークでドローンを飛ばした最初の研究者のうちの1人です。
- 
- (9) I didn't (**money, amount, of, stolen, the, grasp**) during my stay in Paris.  
私はパリ滞在中にいくらお金を盗まれたかが把握できていませんでした。
- 
- (10) There was (**Mr., call, a, for, from, a, you, phone, Tanaka**) while you were out.  
外出中にタナカさんという方から電話がありましたよ。
- 

5. 次の日本語に合うように、各文の（ ）内に指示された文字で始まる適切な語を1語入れなさい。

- (1) The traffic lights on the street (**t** ) green.  
通りの信号が青に変わりました。
- (2) An old friend of mine (**r** ) a system engineer.  
親友の1人は依然としてシステムエンジニアの職のままでした。
- (3) The (**p** ) is how you will solve the task.  
要は、どのようにその課題を解決するかです。
- (4) Don't (**l** ) the door open when it is cold.  
寒いときは、ドアを開けたままにしておいてはいけません。
- (5) I'm sorry to have kept you (**w** ) for a long time.  
長い間待たせてしまって、申し訳ございません。
- (6) (**T** ) say that smoking is bad for the health.  
喫煙は健康に悪いと言われています。
- (7) Please help (**y** ) to beer, wine, whisky, or anything you want.  
ビールでも、ワインでも、ウイスキーでも、何でも欲しいものをご自由にお召し上がりください。
- (8) I appreciate very much that you offered me an opportunity (**t** ) to lose.  
逸するには惜しいような絶好の機会を私に与えてくださり、本当に感謝しております。
- (9) I think. (**T** ), I am.  
我思う、故に我あり。
- (10) It was just twenty o'clock, (**f** ) I heard the church bell ringing.  
ちょうど12時でした。というのも、教会の鐘が鳴っているのが聞こえたからでした。


6. 次の英文を日本語に訳しなさい。

Though Monaco has a very small land, it has a population of 38 thousand, which makes it the most densely populated country in Europe.

**ヒント**  which以下の文のmakeは、「Oを～する」という意味で用いられています。

## 7. 次の和文を英語に訳しなさい。

ベネチア（Venice）は2度訪れる価値のある魅力的な都市です。

**ヒント**  worthという形容詞の用法を辞書で確認して、「都市（city）」に対する修飾関係に注意して、接続詞を使わずに1文で表してみましょう。